

研究会グループ：環境経営研究会

平成29年度活動報告

担当幹事 長安敏夫

環境経営研究会は、企業の環境経営発展に役立つ研究と外部発信及び支援活動を主な目的として、原則毎月会合を開き、活動してきた。

平成29度の入退会は無く、5名で活動を続けている。

1. 平成29年度活動報告

(1) 4月～6月は前期に引き続き下記5項目の活動を実施した。

① 環境経営についての研究

② ISO14001改訂(2015年版)の学習と活用

③ 社会・環境報告書、CSR報告書への第三者意見提供及び作成支援：機会があれば実施

④ 安全・環境活動、法令順守等について工場診断：機会があれば実施

(2) 7月より地球温暖化防止策について研究

情報の公開度が最も高いと思われる、政令指定都市(20)についての情報を収集・分析し、研究会としての調査・分析を纏め、外部発信することとした。第一段階としては、全政令指定都市(20)の地球温暖化対策の一覧表を作成し、各都市の2000年～2015年経年の温室効果ガス排出実績表を作成しホームページで発表することとした。

2. 研究会の解散(環境研究会へ復帰)

当研究会は上記(1)研究活動と企業支援活動を目的とし環境研究会より生まれ、独立したものであるが、その後の世の中の動きとしては、CSR&環境報告書の発行部数、環境マネジメント(ISO14001,やエコアクション21など)の認証登録企業数は伸び悩みにあり、支援活動の機会はなく、研究活動が主となってきた。

一方環境研究会ではこれまでの中国の環境情報に特化した研究から、広く環境一般でマイテーマの取り組みも始められることを考え、環境経営研究会会員も環境研究会のなかで活動するのが適切と考え、2月の会合で方向転換を決めた。環境研究会に上記事情をお伝えしてご理解いただいた後、幹事会で承認いただいて合流(復帰)した。

以上